



まるやまおうきよ
円山応挙

江戸時代中期ごろに活躍した絵師
1733年5月1日 (旧暦6月12日) ~ 1795年7月17日 (旧暦8月31日)
まる やま おう きよ
円山応挙

有名な「幽霊図」を描いた画家

丹波国桑田郡穴太村 (現在の京都府亀岡市曾我部町穴太) の農家に生まれ、のちに日本画家として名を残しました。「白い着物を着ている」「足がない」「髪の高い女性」という「幽霊」のイメージは、応挙が描いた「幽霊図」が元になったといわれています。

狩野派に入門し「型」を習得

17歳になった応挙は、当時大活躍していた絵師集団狩野派の石田幽汀に師事しました。見本の絵を何度もうつし描きすることで絵画の術を身につけました。「写生」の技法を使いこなし自然物を悠々と描いた水墨画「雪松図屏風 (国宝)」などの作品を生み出しました。

写生を重視した新しい絵画を創り出す

応挙による自然風景や動物、人間などを見たまに描いた作品は、対象を生き生きと表現し、多くの人々に親しまれました。応挙のもとに集まった弟子たちは「円山派」となり近代日本画の発展に影響を与えました。

円山応挙
おすすめの本



『いちからわかる
円山応挙』
岡田 秀之・著
新潮社



『感じて見よう!
はじめてであらう日本美術③
こわい、あやしい編』
佐野 みどり・監修
教育画劇



『ジュニア版もっと知りたい
世界の美術 3 若冲と応挙』
金子 信久・監修
東京美術



『マンガで教養
やさしい日本絵画』
(マンガで教養シリーズ)
山下 裕二・監修
朝日新聞出版



『くらべてわかる
若冲 VS 応挙』
安村 敏信・著
敬文舎

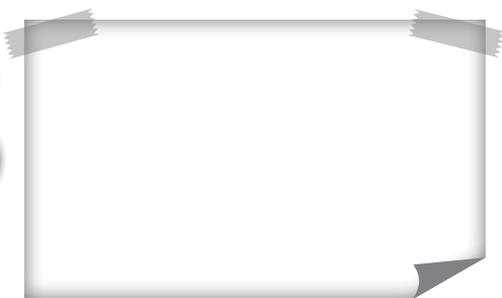
最後のページのクイズの答え: Q1 花 Q2 クラリネット Q3 つるぎ Q4 青

※クイズは、全国学校図書館協議会Webサイト「図書館クイズ」のページに掲載されています。PDFもご活用ください。



Let's

図書館 de クイズ



Q1 言葉編

次の野菜の名前を漢字で書くと……

キャベツは、「甘藍」

ハクサイは、「白菜」

ではブロッコリー（イタリア語です）は？

に漢字を入れてね。

A 芽 椰菜

Q3 の乗り物編

北陸新幹線の名まえは4つ。

「かがやき」「はくたか」「あさま」。

あと1つは何でしょう？

A

Q2 おんがくへん 音楽編

次の楽器の中に、イタリア生まれではないものがあります。

それは、どの楽器でしょう。

① バイオリン



② ピアノ



③ クラリネット



④ マンドリン



A

Q4 スポーツ編

イタリアサッカー代表チームを「アズーリ」といいますが、これはイタリアサッカー代表チームのユニフォームの色をさしています。この「アズーリ」とは何色でしょう？

① 赤

② 青

③ 白

A

※コピーして使ってください。

